

Please “Czech” it!

埼玉大学経済学部経済学科 4年
高橋柚季菜

派遣先 : Tomas Bata University in Zlin
期間 : 2022年9月1日~2023年1月31日

チェコ共和国とは

「名前は聞いたことがあるけど、いまいちどこにあるかわからない」「チェコスロヴァキアでしょ?」とよく言われます。チェコは西にドイツ、北はポーランド、東はスロヴァキア、南はオーストリアに囲まれた場所に位置しています。チェコスロヴァキアが解体されたのは今から30年前で、「ビロード離婚」と呼ばれる平和的な解体が行われました。



ビロード離婚の舞台
トゥーゲンハット邸

なぜチェコに?

- ・景色が綺麗だから

実際に留学していたズリーンは、赤いレンガの四角い建物が並んでいる独特な街並みです。ここはトマーシュ・バチャという実業家が計画して作った都市で、大学名は彼から来ています。

- ・マーケティングについて学べると思ったから

チェコは共産主義時代があり、そこから移行して資本主義経済になった歴史があります。その移り変わりや、ヨーロッパの小売業におけるデジタル化を学ぼうと思いました。

- ・物価が安いと思ったから

ヨーロッパで英語を学びたいと思っていたので、ユーロ圏ではないところに行こうと思い、チェコを選びました。しかし、コロナ禍とウクライナ情勢により、物価はその前に比べるとかなり高くなっていました。現在の物価は日本と同じくらいだと思います。

現地での生活

私の友人のほとんどは剣道部に所属していたので、日本に興味を持ってくれました。私も友人の出身国(チェコ、スロヴァキア、ロシアなど)に興味を持っていたので、お互いに言語交換や文化を教え合いました。

私が留学していた地域では、日本人はもとより、日本語話者がほとんどおらず、英語も

しくはチェコ語でのコミュニケーションが必須でした。私は留学前、英会話に最も不安を感じていたため、最初はどうも話すことができず、もどかしい日々が続きました。しかし、現地のバディが優しく話しかけてくれたり、剣道部で出会った友人と趣味の会話で盛り上がりやすくなるうちに、英語で話しているときに心から笑えることに気づきました。

一番楽しかった出来事は、友人と一緒にお互いの郷土料理を作ったことです。同じ寮に住んでいる韓国出身の友人と仲良くしていたので、よく集まって夕飯を囲み、お酒を飲みながらお互いの国の文化から政治まで、さまざまな話題を語ったことがとても楽しかったです。



韓国出身の友人との夕飯

チェコで学んだこと

第二言語として英語を話すときに一番大事なことは、「伝えること」と「伝わること」だと学びました。難しい単語より、簡単な単語を使うことや、多少文法が間違っていたとしても、例を出したり、ジェスチャーを使ったりすることを意識していました。

トーマスバタ大学に剣道部があり、6年ぶりに剣道を再開しました。チェコでは剣道が好きで、楽しんでいる剣士がたくさんいて、彼らと一緒に剣道する時間が大好きでした。



チェコの剣道大会

埼玉県をPRした出来事

Country Presentation という行事があり、そこで日本の魅力を伝えるとともに、埼玉県の豊かな自然も紹介しました。また、剣道部の友人が私の地元に興味を示してくれて、大学周辺の写真を共有しながら、説明をしました。友人が愛読する漫画「ワンパンマン」の主人公の名前が「サイタマ」ということや、埼玉が東京から近い街であることから、「サイタマ」という単語を知っている方が多かったのは驚きました。

おわりに

埼玉大学の派遣留学協定校から選んだチェコ共和国・トーマスバタ大学でしたが、ここだからできた体験、出会えた人々、感じたことが数えきれないほどあり、そのすべては私にとって、かけがえのない宝物です。半年と短い期間でしたが、私の人生の中で最も密度の濃い半年間でした。今回は英語で授業を履修し、友人とも英語で会話をしましたが、チェコ語で話すことができなかったことを後悔しています。次回チェコを訪れるときには、チェコ語で会話をできるように勉強をしようと思いました。また、「帰りたい」と思えるような体験をすることのできたチェコ、トーマスバタ大学、剣道部の友人たちには感謝の気持ちでいっぱいです。